

市税で築く明るいまち

市税の納付は、便利な口座振替
をご利用ください。

市報



こがねい

ホームページ <http://www.city.koganei.lg.jp/>
モバイル(携帯電話)版 <http://www.city.koganei.lg.jp/m/index.html>

さくら咲く えがお咲くまち
小金井市



KOGANEI CITY
60th ANNIVERSARY
上段のシンボルマークとキャッチ
コピーは、市制施行60周年記念と
して市民の皆さんの投票の結果、
決定したものです。

平成30年度施政方針

2月21日に、平成30年第1回市議会定例会の冒頭、西岡真一郎市長が、平成30年度の施政方針演説を行いました。

その中で市長は、「市民一人ひとりが大切にされ、真の幸せを実感できるまち小金井」を創り上げるため、明るい未来に向けて力強く歩む決意を表明しました。

ここにその要旨をご紹介します。なお、全文は、企画政策課でご覧いただけるほか、市ホームページで公開しています。

企画政策課企画政策係（市役所本庁舎2階 ☎042-387-9800）



「今、為すべきことは何か」

— 小金井市の

未来のために

1 はじめに

はじめに、可燃ごみの処理について御礼を申し上げます。市政の最優先課題である可燃ごみの処理につきましては、

日野市のご理解のもと、国分寺市、小金井市の3団体を構成市とする浅川清流環境組合において、昨年11月から日野市内にて新可燃ごみ処理施設の建築工事を開始し、平成32(2020)年4月の本格稼働をめざし事業を進めております。本市といたしましては、共同処理が円滑に進むよう与えられた役割の重大さを認識し、誠実に責任を果たすべく全力を尽くしてまいりたいと考えています。新施設周辺にお住まいの皆様をはじめとした日野市民の皆様および関係者の皆様へ深く感謝を申し上げます。

併せまして、廃棄物の最終処分場の運営について、多大なるご理解とご協力をいただいている日の出町の皆様に心より感謝を申し上げます。

さて、昨年1年を振り返りますと、米国や韓国に新たな大統領が就任しました。とりわけ、北朝鮮が行った度重なるミサイルの発射や核実験の強行は、断じて容認できるものではありません。平和を希求するすべての人々の想いとともに、私にできる精一杯の行動を続けてまいりたいと思っております。

2 平成30年度予算の概要と市政運営の基本理念

【平成30年度予算の概要】

平成30年度の予算編成は、行政経営資源の有効活用を念頭に編成いたしました。

この間、中期財政計画、直近の状況や変動要因等を踏まえた実施計画を策定のうえ、今後10年間を視野に入れた財政見通しを策定するなど、計画的な予算編成を行ってまいりましたが、本市の財政状況は厳しさを増しつつあるとの認識であります。このため、あらゆる経費の削減に努めつつ、すべての事業において最少の経費で最大の効果を得られるよう検討を行ったほか、より一層の財源確保に努めてきたところであります。この結果、平成30年度予算は、市制施行以来最大規模となる一般会計40億5千800万円、前年度対比10・2%の増、4つの特別会計を合わせた全会計では67億7千27万5千円で、前年度対比3・9%の増となりました。

【市政運営の基本理念】

■市民と行政が共有するブランドデザインづくり

とを念頭に熟慮を重ね、決断の後には、逡巡することなく行動することを改めて市民の皆様にお約束申し上げ、今後本市が直面する困難な課題に正面から取り組み、第4次基本構想の将来像「みどりが萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ 小金井市」の実現に向け、全力で市政運営に当たってまいります。

さて、将来の小金井市のありべき姿やまちとしての将来像を、広く長期的視野に立ち、市民協働の観点から、多くの市民の皆様と作り上げていくべきものと考えております。平成30年度においては、市制施行60周年という節目の中で、「未来の小金井市」を市民の皆様とともにイメージし、次期基本構想につながるものとして、市民参加により「小金井ブランドデザイン」を描いてまいります。

■市民サービスと住民福祉を向上させるための真の行財政改革

行財政改革につかましまして、少子高齢社会の先を見据え、持続可能な財政運営と市民サービスの向上を目的に、「選ばれるまち」をめざす「行財政改革プラン2020」および「アクションプラン2020」を取りまとめました。平成30年度は、私自身がすべての職員の先頭に立ち「全職員による本気の改革」を進めてまいりたいと思っております。

■公共施設全体の将来ビジョンの策定と庁舎問題の解決

公共施設等の更新につかましましては、公共施設マネジメントの3つの基本原則である、総量の抑制、PPP(※1)の活用、保有資産の有効活用を基本に、将来の更新費用および維持管理費の削減に努めることを基本目標とする「公共施設等総合管理計画」を取りまとめました。今後、公共施設の最適化、マネジメントサイクルの構築、管理運営の効率化等を段階的に進めるためにも全庁的な理解や意識の

浸透に努めてまいります。

本市の長年の課題であるとともに私の最大の目標であり、公約でもある「庁舎問題の解決」につきましては、新庁舎および(仮称)新福祉会館の竣工を平成33(2021)年度とすることを目標として掲げ、施設建設を進めてまいります。市民の皆様および市議会議員各位のご理解、ご協力をいただきながら一日も早く円滑な事業の推進に向け、全力で取り組んでまいります。

■駅周辺のまちづくりの推進

駅周辺のまちづくりにつかましましては、武蔵小金井駅南口第2地区第一種市街地再開発事業が大きく動き出し、昨年2月から施行地区内の解体工事、7月には本体工事に着手し、平成32(2020)年5月の完成をめざすとともに、同駅北口駅前地区に関しても、引き続き駅周辺のまちづくりを進めてまいります。

東小金井駅北口土地区画整理事業につかましましては、事業地内の変化を実感していただけるようになってまいりました。地域の魅力と活力に満ちたまちづくりのため、不断の努力を続けてまいります。

JR中央本線連続立体交差化事業を契機とした本市のまちづくりは、市政の悲願であり必ずや成し遂げねばなりません。これまでの経過を踏まえ、市民の皆様のご利益と利便性を考慮しながら、持続可能なまちづくりを、引き続き力強く前進させてまいります。

2面へ続く